

新規成分配合 疫病・べと病用 殺菌剤

BASF
We create chemistry

ザンプロDM[®]フロアブル

ダブルブロックで、殺菌。



- 耐雨性に優れる。
- 治療的効果を有する。
- 優れた予防効果。



葉断面拡大イメージ

有効成分が葉表面に吸着

葉の外からブロック

▼ 雨に強い成分
イニシウム[®]
(一般名: アメトクトラジン)

葉の内からブロック

● 浸み込む成分
ジメトモルフ

有効成分が
葉内に浸達

● 病原菌



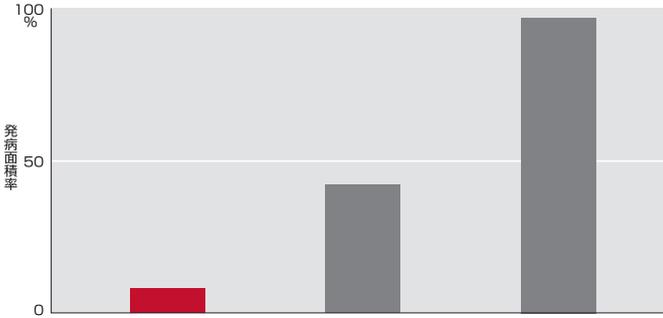
無人
ヘリコプター
散布に
適用拡大



ザンプロDMフロアブルの特長

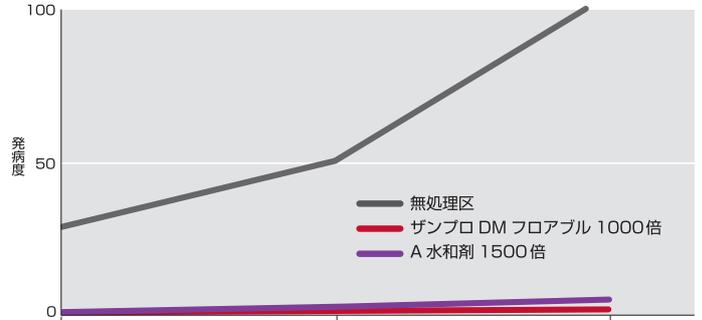
- 新規作用性のイニシウムと、菌糸伸長を阻害するジメトモルフの二つの有効成分で、疫病・べと病の生活環のほぼ全てのステージを強く阻害します。
- 葉面ワックス層に対して親和性を有することで、高い耐雨性および残効性を示します。
- 浸達性を有し、治療的効果も有します。

治療的効果に優れる



トマト幼苗に疫病菌遊走子懸濁液を接種し、23℃、過湿状態で20時間保管。その後、各種薬剤を散布後、発病面積率を調査。(2013年BASF田原研究所)

莖葉散布(ダブルインターバル)による防除効果



- 試験機関:北海道立総合研究機構 十勝農業試験場(平成25年)
- 品 種:さやか 植え付け 5月9日
- 散布日:7月2日、16日、31日 散布量 100ℓ/10a
- 発生状況:甚発生(初発7月17日)
- 調査日:7月31日、8月5日、14日に各区20株を調査。

ザンプロDMフロアブルの使い方のポイント



- 1 使用する前にボトルをよく振ってください。
- 2 薬剤投入時には投入口にストレーナー(ネット・メッシュ等)を付けてください。
- 3 使用後は散布機(タンク、ノズル、ストレーナーなど)をよく洗浄してください。
- 4 できるだけボトルを1回の散布で使い切ってください。

適用病害と使用方法

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	アメクトラジンを含む農薬の総使用回数	ジメトモルフを含む農薬の総使用回数
ばれいしょ	疫 病	1000~1500倍	100~300ℓ/10a	収穫前日まで	3回以内	散布 無人ヘリコプターによる散布	3回以内	3回以内
		250倍	25ℓ/10a					
		32倍	3.2ℓ/10a					

※ばれいしょのみ抜粋。他にトマト、ミニトマト、きゅうり、たまねぎ、ねぎ、レタス、小粒種ぶどう、大粒種ぶどうに登録があります。

△ 効果・薬害に関する注意事項

1. 使用に当たっては容器を良く振ってください。
2. 薬剤耐性菌の出現を防ぐため、本剤の過度の連用はさけ、なるべく作用性の異なる薬剤との輪番で使用してください。
3. ばれいしょに対して希釈倍数250倍で散布する場合は、少量散布に適したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
4. ぶどうに使用する場合は、果粉溶脱のおそれがあるので大豆大以降の散布をさせていただきます。
5. 無人ヘリコプターで散布する場合は、次の事項に注意してください。
 - ① 散布機種種の散布基準に従って実施してください。
 - ② 散布機種種に適合した散布装置を使用してください。
 - ③ 散布中、薬液が漏れないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行ってください。
 - ④ 散布薬液の飛散による他の分野への影響に注意して、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意してください。

6. 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には病害虫防除所等関係機関の指導を受けてください。

△ 安全使用上の注意

1. 誤飲などのないよう注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
2. 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
3. 散布の際は農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんなどでよく洗い、うがいをしてください。
4. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。

貯蔵上の注意事項

直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に密栓して保管してください。

- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。
- 使用後の空容器は圃場などに放置せず、環境に影響のないよう適切に処理してください。●防除日誌を記帳しましょう。

このチラシの記載内容は2017年12月現在のものです。